



新着図書

11月

天事なものから捨てなさい メイコ流笑って死ぬための33のヒント

著者名:中村メイコ
出版者:講談社

リクエスト
ありがとうございます

87歳で行き着いた「身軽で愉快的暮らし」。最後の片付けのコツ、健康との向き合い方、家族との距離感…。心がこんなに軽くなるなんて。

神よ憐れみたまえ

著者名:小池真理子
出版者:新潮社

リクエスト
ありがとうございます

昭和38年11月、三井三池炭鉱の爆発と国鉄の事故が同じ日に発生し、「魔の土曜日」と言われた夜、12歳の黒沢百々子は何者かに両親を惨殺された。母ゆずりの美貌で、音楽家をめざす彼女の行く手に事件が重く立ちをはだかる。黒く歪んだ悪夢、移ろいゆく歳月のなかでそれぞれの運命の歯車が交錯し、動き出す…。10年の歳月をかけて紡がれた別離と再生。著者畢生の書下ろし長篇小説。

ムスコ物語

著者名:ヤマザキマリ
出版者:幻冬舎

リクエスト
ありがとうございます

国籍?いじめ?血の繋がり?受験?将来?は?なんだそりゃ。『ヴィオラ母さん』で規格外の母親の一代記を書いた著者が、母になり、海外を渡り歩き息子と暮らした日々を描くヤマザキマリ流子育て放浪記。

氷柱の声

著者名:くどうれいん
出版者:講談社

東日本大震災が起きたとき、伊智花は盛岡の高校生だった。それからの10年の時間をたどり、人びとの経験や思いを語る声を紡いでいく、著者初めての小説。第165回芥川賞候補作。

あきない世傳金と銀 10

著者名:高田郁
出版者:角川春樹事務所

リクエスト
ありがとうございます

呉服太物商でありながら、呉服仲間を追われ、呉服商いを断念することになった五鈴屋江戸本店。だが、主人公幸や奉公人たちは、新たな盛運の芽生えを信じ、職人たちと知恵を寄せ合って、これまでにない浴衣地の開発に挑む。男女の違いを越え、身分を越えて、江戸の街に木綿の橋を架けたい—そんな切なる願いを胸に、試行錯誤を続け、懸命に精進を重ねていく。

硝子の塔の殺人

著者名:知念実希人
出版者:実業之日本社

地上11階、地下1階、唯一無二の美しく巨大な尖塔だ。ミステリを愛する大富豪の呼びかけで、刑事、霊能力者、小説家、料理人など、一癖も二癖もあるゲストたちが招かれた。この館で次々と惨劇が起こる。館の主人が毒殺され、ダイニングでは火事が起き血塗れの遺体が。さらに、血文字で記された十三年前の事件……。謎を追うのは名探偵・碧月夜と医師・一条遊馬。

すごすぎる天気の本鑑 空のふしぎがすべてわかる!

著者名:荒木健太郎
出版者:KADOKAWA

リクエスト
ありがとうございます

とっても身近な空や雲、天気ですが、じつは知らないことがたくさん!「雲は何でできている?」「どんな種類の雲がある?」「虹を見るにはどうしたらいい?」「空が青いのはどうして?」「最近大雨が起りやすくなっているの?」「『大気の状態が不安定』ってどんな意味?」などなど、空にまつわるギモンに、一気にお答えします!

水たまりで息をする

著者名:高瀬隼子
出版者:集英社

夫が風呂に入らなくなった。夫が、何も起こらないはずだった二人の生活が、静かに変わってゆく。第165回芥川賞候補作。

あんなにあんなに

著者名:ヨシタケシンスケ
出版者:ポプラ社

リクエスト
ありがとうございます

いつか大人になるきみへ、むかし子どもだったあなたへ。すべての家族に寄り添う絵本。

あきない世傳金と銀 11

著者名:高田郁
出版者:角川春樹事務所

リクエスト
ありがとうございます

湯上りの身拭いにすぎなかった「湯帷子」を、夕涼みや寛ぎ着としての「浴衣」に一そんな思いから売り出した五鈴屋の藍染め浴衣地は、江戸中の支持を集めた。店主の幸は「一時の流行りで終らせないためにはどうすべきか」を考え続ける。折しも宝暦十年、辰の年。かねてよりの予言通り、江戸の街を災禍が襲う。困難を極める状況の中で、「買うての幸い、売っての幸せ」を貫くため、幸のくだす決断とは何か。



新着図書



考えて、考えて、考える

著者名:丹羽宇一郎 藤井聡太
出版者:講談社



「死ぬまで努力」。数多くの修羅場を乗り越えてきた名経営者と、異次元の強さで成長を続ける若き天才棋士。どうすれば強くなれるのか、勝負の前の心の整え方、逆境の越え方、時間の使い方、日常の学びから人生の目標…。八二歳と一九歳。ビジネスと将棋。年齢も活躍する分野も大きく異なる二人。その二人の真摯な対話から見えてきたのは、人間の強さの本質、そして考え抜くことのおもしろさと喜びだった。

宝くじを何回も当てた人、億を当てた人の手相

著者名:けんたろう
出版者:主婦の友インフォス

6億円当せん者からロ宝くじ複数回当せん、累計当せん金額5000万円以上まで! 手相を見れば、当たる宝くじがわかる

3ぶんでねむくなるえほん

著者名:のぶみ
出版者:東京ニュース通信社

たった3分で眠たくなる!? キッズコーチングのメソッドをベースに、ベストセラー絵本作家・のぶみが描く寝かしつけ絵本

サンドイッチクラブ

著者名:長江優子
出版者:岩波書店

秘密のクラブ活動へようこそ。なりたい自分って? やりたいことって? 新たな世界に向きあっていく少女たちの成長物語。

黒牢城

著者名:米澤穂信
出版者:KADOKAWA

「おぬしならばこの曲事を解ける」本能寺の変より四年前、天正六年の冬。織田信長に叛旗を翻して有岡城に立て籠った荒木村重は、城内で起きる難事件に翻弄される。動揺する人心を落ち着かせるため、村重は、土牢の囚人にして織田方の軍師・黒田官兵衛に謎を解くよう求めた。事件の裏には何が潜むのか。戦と推理の果てに村重は、官兵衛は何を企む。

九十八歳。戦いやまず日は暮れず

著者名:佐藤愛子
出版者:小学館

今秋98歳になる佐藤愛子さんが断筆宣言をした「さようなら、みなさん」を収録する「最後のエッセイ集」となります。タイトルは、1969年に発売され直木賞受賞作となった佐藤さんの小説『戦いすんで日は暮れて』の本歌取り。夫が作った莫大な借金をひとり背負い込んで奮闘する妻(=佐藤さん)の姿を活写し、愛子センセイが世に出るきっかけになった代表作のひとつです。

こどもサピエンス史 生命の始まりからAIまで

著者名:ベングト=エリック・エンゲホルム
出版者:NHK出版

きみやぼくの祖先はずっと昔、木にのぼり、草原をよつんばいでうろろろしていた。それから人間のために働いてくれるロボットをつくるまで、長い時間がかかった。その途中には、いったいどんなことがあったんだろう? なぜぼくたちは今のようになったんだろう? 人間はほかの生きものたちとどうつき合っていたらいいと思う? そして、これからぼくたちがどんなふうになっていくか想像してみない?

